

# 社協だより



八田ふれあいプロジェクトのメンバーが、自作の甲州弁寸劇「どこにでもある ふううの話」を通して、支えあい  
の大切さを伝えます。

## 目次

- ◆第14回南アルプス市社会福祉大会開催(福祉ポスター入賞作品紹介) ……………2
- ◆社協会費・共同募金の報告 ……………3
- ◆災害は忘れなくてもやってくる！ ……………4  
～災害に強いまちづくりを目指している社会福祉協議会の取り組み～
- ◆支えあいの地域を作るために ……………5
- ◆各地区での支えあいの地域づくりの取り組みを紹介します!! ……………6～7
- ◆慈恵寮日記、ご寄附報告 ほか ……………8



# 第14回南アルプス市社会福祉大会を開催しました

平成29年11月19日（日） 櫛形生涯学習センターあやめホールにおいて、第14回南アルプス市社会福祉大会を開催しました。第一部式典では、社会福祉の発展に功績のあった個人・団体表彰、平成29年度福祉ポスター入賞者表彰および金婚祝い記念品の贈呈を行いました。



第二部では、南アルプス桃源座による公演『橘組長の闘病－ホスピス桃源にて－』が行われました。肝臓がんの患者が安らかな最期を迎える過程で、精神と肉体が徐々に衰えていく様子を、桃源座の皆さんは鬼気迫る演技で会場内を魅了し、理想の最期とは何なのかを考えさせられる公演となりました。

## 社会福祉の発展に功績のあった個人・団体表彰

(順不同・敬称略)

### ● 民間社会福祉施設・団体役職員功労

田中 正志    福田 亜希子    三木 千代子  
 田中 修    深澤 香    杉山 さと美  
 河西 恵里    望月 智恵    中込 洋子

### ● 介護功労

輿石 健三

### ● 金品寄付・労力提供（個人）

若草生涯学習センター指定管理者シャンブレイ  
 南アルプス商業協同組合

### ● 社会福祉活動（団体）

ゆりかごの会

## 平成29年度 小中学校福祉ポスター入賞作品

(順不同・敬称略)

### 最優秀賞



白根飯野小4年 河住 咲実



### 優秀賞

若草南小2年 伊藤 彰吾



### 優秀賞

小笠原小6年 常盤 真央



### 優秀賞

白根御勅使中2年 佐野 真優

### 佳作



若草南小3年 荻野 航介



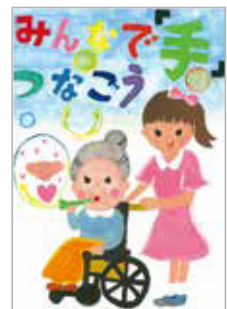
### 佳作

白根東小3年 深澤 悠莉



### 佳作

白根飯野小4年 木下 敦翔



### 佳作

櫛形北小4年 中込 千愛

# 皆さまからいただいた社協会費と共同募金は さまざまな福祉事業に使われています

今年度も多くの市民の皆さまに、社協会費ならびに共同募金にご協力いただき誠にありがとうございます。

南アルプス市社会福祉協議会では基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」を進めていくために、お寄せいただいた社協会費や共同募金を社会福祉事業の財源として様々な事業に有効活用しています。



## 平成29年度 社協会費中間報告

区分	地区	金額(円)
一般会員	八田	1,669,000円
	白根	4,560,600円
	芦安	98,000円
	若草	2,610,000円
	櫛形	4,547,400円
	甲西	2,934,100円
	合計	16,419,100円
賛助会員	—	73,000円
特別会員	—	25,000円
総合計		16,517,100円

(平成29年12月20日現在)

## 平成29年度 赤い羽根共同募金中間報告

募金種別	金額(円)	説明
家庭募金	9,251,640円	自治会長・組長さんのご協力で、市内の各世帯へお願いしたものです。
街頭募金	112,607円	ボランティアさんのご協力を得て、店頭や社協のイベント等で行った募金です。
大口募金	2,240,176円	民生委員さんにご協力いただき、市内の企業・団体からいただいた募金です。
職場募金	589,180円	事業所・職場等で行われる自発的な募金です。
学校募金	120,207円	市内の小・中学校の児童会、生徒会による自発的な募金です。
自動販売機募金	9,132円	市内に設置された自動販売機の売上の一部を募金としていただいています(設置場所:デイサービスゆうかり、デイサービスセンターわかくさ)
合計	12,322,942円	

(平成29年12月20日現在)



地域における減災・防災のまちづくり事業  
(防災ボランティア養成講座)



ふくしのこころを育む事業(福祉教育)



赤い羽根共同募金街頭募金

### その他にも多くの事業が行われています

- ボランティア事業 ● ボランティア団体育成事業 ● あったかサービス事業 ● 地域特別事業 ● 一次相談事業
- 地域における減災・防災のまちづくり事業 ● みんなで地域をよくする事業 ● ふれあい広場事業 ● 歳末助け合い事業
- 小地域ネットワーク事業 ● 社会福祉大会開催事業 ● 広報誌(ボランティア情報、社協だより)発行事業 ほか

♥今年度も皆さまから多くの善意をいただきました。ありがとうございます♥

佳作

櫛形中1年  
シェバード 蓮



佳作

櫛形中3年  
川住 志歩



審査員特別賞

若草中1年  
上野 空



審査員特別賞

白根御勅使中2年  
内田 夏葵



# 災害は忘れなくてもやってくる！

～災害に強いまちづくりを目指している

～社会福祉協議会の取組み～

社協がなぜ防災なの？という声があります。私たち社協には「誰もが住みやすい地域を住民の方々と協力して作る」という大きな使命があります。特に災害はいつなんどき起こるかわかりません。また、誰もが「助ける人」「助けられる人」どちらにもなり得ます。普段の生活の中からつながりがある地域になるために、防災をキーワードとして取り組んでいます。

誰もが住み慣れた地域で暮らせるように・・・

## 災害ボランティアセンター設置運営訓練概要図



来たるべき災害に備え何が必要か・・・

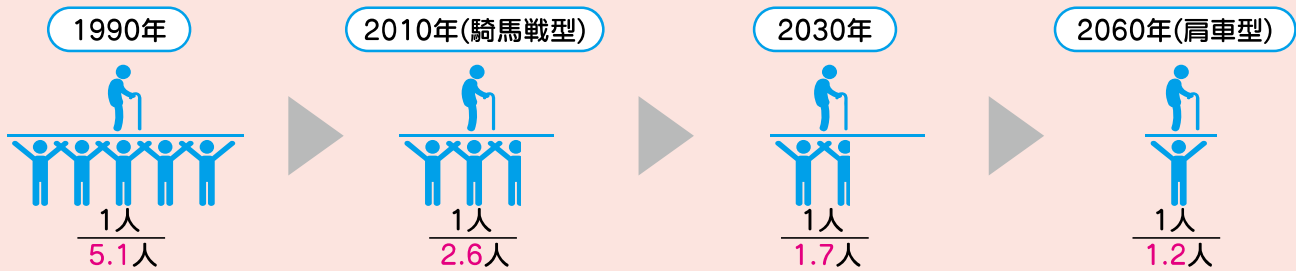
大規模災害発生時には、被災者ニーズの的確な把握と全国から駆け付ける多数のボランティアをスムーズにマッチングすることにより、被災地の早期復旧や被災者に寄り添った支援が可能となります。このことから発生が危惧されている東海地震などに備え地元住民との連携、協力のもと、災害ボランティアセンターを速やかに立ち上げ、また災害ボランティアに対する知識を多くの住民に持っていただくことを目的に、平成29年12月3日に、源西区公民館、芦安ふれあい館を会場とし、災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。

# 支えあいの地域を作るために

## 今、支えあいの地域づくりがなぜ必要？

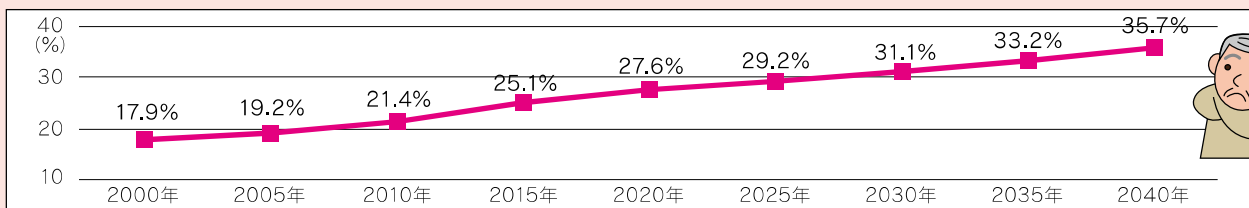


現在、「少子化」「超高齢化」「人口減少」が進み、支える側の負担が大きくなってきています。将来は何人の現役世代が1人の高齢者(65歳～)を支える社会となるのか……



このように「高齢者1人に対する現役世代の人数」は1990年には5.1人でしたが、2060年には1.2人となっており、高齢者を支える現役世代の人数はここ50年で半分以下になっていくことがわかり、とても他人事とは言えない状況になってきます。

●南アルプス市における高齢化率の推移(予測)



## そもそも「協議体」ってなに？



「一人暮らしになっても、車の運転ができなくなっても、  
住み慣れた地域で自分らしく暮らしていきたい」

少子化、超高齢化社会が進むなかで、誰もが暮らしやすい地域を作るための支えあいの仕組みづくりについて話し合う場が協議体です。今ある資源(サロンなどの居場所、近所の助け合いなど)や足りないものを確認し合い、安心して暮らしていくために自分達にできる事を考え、どうやったら実現できるかを話し合います。

市全域、小学校区単位、自治会単位などの規模がありますが、社会福祉協議会では主に小学校単位での話し合いに取り組んでいきます。

南アルプス市には、様々な支えあい活動や活動者・団体等のほか、文化や芸能、知恵や工夫などのたくさんの大切な“社会資源”があります。協議体では、そうした「地域の宝物」をみんなで共有し、その「地域の宝物」からの情報を参考にしながら、地域福祉活動計画の基本理念でもある「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」を進めています。



# 各地区での支えあいの地域づ

誰もが住み慣れた地域で10年、20年先も安心して暮らせる、支えあいの仕組みづくりについて話し合  
一人の困りごとはみんなの困りごと。小さな助け合いが、やがて大きな支えあいになり、誰もが暮ら  
しています。ここではその一部を紹介します。

## 八田 地区

「協議体」の活動を地域の人々に知ってもらいたいという思いから、方言を多用した自作の寸劇を披露しています。また「私たち住民だけで、出来ること」の具体化に向け、地元商店と連携した買物支援・移動支援についての話し合いを始めました。誰でも参加でき想いを伝えることの出来る協議体を目指しています。



## 白根東 地区

5月に「地域支えあい協議体白根東」を設置しました。桃の丘地区では、誰でも気軽に寄れて美味しいコーヒーが飲める居場所運営や、いざという時にお互いに助け合える様に安心マップの制作などが進んでいます。また、各自治会での活動では近所づきあいの大切さなど地域の宝物が再発見されています。



## 白根源 地区

2月に「源地区の支えあいを考える会」を開催し、「自分達が出来  
る事からやっていきたい」「隣同士で助け合える地域を目指したい」  
など、たくさんの前向きな意見をいただきました。今後は有志による話し合いを進め、さらに住みやすい地域づくりを進めます。

飯野地区、百田地区でも「考える会」を開催予定です。

## 芦安 地区

小さな地区でほとんどが顔見知りという特性を活かし「学校と地域の連携」という内容で今後の活動を進めていくことになりました。中学生も地域の一員として、災害時等には何が出来るか地域の人達と一緒に考えてみたいという意見をもとに、2月には中学校で住民と共に避難所運営ゲーム（HUG）を行う予定です。そこから見えた課題について考え、安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

「課題も多いが資源も多い!!」地域で、話し合いの中から出る活発な意見が即実現することを強みに活動を進めます。



それぞれの地域で今ある資源を生かして、様々な方法で取り組みが始まっていますが、もっと  
ください。また、地域のふくし問題について考えたいと思っている方など、出前勉強会も行います。

# くりの取組みを紹介します!!

いを進める「協議体」。まだまだスタートしたばかりですが、少しずつ各地区へと広がってきています。やすい地域になることを目指して、現在9つの地区で支えあいを考える会や勉強会、実際の活動が始まっ

## 若草北 地区

話し合いを重ねる中で、誰でも気軽に立ち寄れる場所があると交流ができて楽しいねとの声があり、十日市場ふれあいセンターで「交流の場よってけし」をスタートしました。百歳体操、移動販売、お茶飲み会、舞踊練習といろいろなことが始まりました。家から出る事が少なくなった方も、シルバーカーを押して出かけて来るようになり「買い物も出来て良かった」との声が寄せられています。



## 若草南 地区

親しみやすく「SCわかなん」(セーフコミュニティ若南)という名を付けた協議体です。活動を知ってもらいたい、仲間を増やしたい、地域の方の想いをもっと知りたく自分達でデザインしたチラシや名刺、方言で親しみやすく寸劇を行うなどの広報をしています。話し相手や庭木の剪定など実際の助け合いも始まっています。



## 櫛形西 地区

5月から毎月協議体についての勉強を重ねる中で、「地域の方が抱える本当の課題が分からなければ、実際の活動は出来ない」との意見がまとまり、メンバーを中心に自分の住む地域の高齢者を対象に、意識調査を行いました。今後は結果を分析し、地域で必要としている支援、自分達にできる事を見極めていく予定です。



## 櫛形北 地区

12月に「櫛形北地区の支えあいを考える会」を開催しました。既にネットワークづくりへの取り組みを始めようとしている地域もあり、この活動を北地区全体に伝え、状況に合わせた住みやすい地域について話し合いを進めます。まずは協力者の募集から始めていく予定です。



## 甲西落合地区

9月の「落合地区の支えあいを考える会」以降、自分たちの地域について考える会を定期的で開催しています。その中では、「この活動はまだまだ知られていない。知ってもらおう事から始めよう。」との意見のもと、自分達で広報のためのチラシ作りから始める事になりました。

湯沢区では、1年前から「お楽しみ買物ツアー」として自治会が中心となって高齢者が元気で過ごすための交流を目的に、買い物支援に取り組んでいます。

このような実際の身近な活動も参考にしながら、暮らしやすい地域づくりを進めます。



もっと地域の皆様の力が必要です。できることから始めてみませんか。ぜひご協力く要望がありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

南アルプス市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎283-4121



慈惠寮日記

慈惠寮は地域の皆さま方に支えられています

慈惠寮には、季節に合わせ、新年会、お花見、レクリエーション、交流運動会、忘年会、地区文化祭への参加など様々な行事があります。その多くは、地域の方々や関係者などにご協力をいただきながら実施しています。

地元柿平地区の方々とは、納涼会や合同防災訓練など、年間を通じ毎年一緒に取り組んでいます。また柿平育成会からも落ち葉掃きの協力をいただいています。子どもから高齢者まで地域の方々といふれあうことは、入所者にとって地域と繋がる大切な交流の機会です。

地域に根差した施設として、これからも多くの方々との繋がりを深めていきたいと思ひます。



育成会での落ち葉掃き

善意によるご寄附 ありがとうございます

●ご寄附いただいた金品は貴重な財源として社会福祉事業推進に役立たせていただきます。(順不同)  
(平成29年6月1日～平成29年12月22日までのご寄附)

- 一般社団法人南湖報徳社 様 .....50,000円
- 匿名 .....100,000円
- 百々八区二桁会 代表 進藤吉男 様 .....10,000円
- 千田 章 様 .....洗濯洗剤、タオル等約2箱
- 南アルプス商業協同組合 様 .....940,000円
- 南アルプス市体育協会社交ダンス部 代表 深沢完治 様 .....50,000円
- 匿名 .....おむつ2袋
- 山寺、柿平愛育会 様 .....古タオル、シーツ等約15箱
- マックスリユ東海(株) 様 .....車椅子1台
- 匿名 .....6,000円
- トヨタ自動車東日本労働組合 様 .....29,674円
- 公益社団法人南アルプス市シルバー人材センター 様 .....32,000円



南アルプス商業協同組合 様



マックスリユ東海(株) 様



トヨタ自動車東日本労働組合 様



公益社団法人南アルプス市  
シルバー人材センター 様

フェイスブックはじめました!!



南アルプス市社会福祉協議会では、各種講座、事業報告などタイムリーな情報をいち早く市民の皆さまに届けるために、広報誌やホームページに加え、フェイスブックページを開設いたしました。市民の方々の『いいね』が増えるよう、随時更新していきます。



～社会福祉協議会本所移転のお知らせ～

現在、南アルプス市社会福祉協議会では、旧市若草窓口サービスセンター(寺部659番地)内の一角を使用し業務を行っておりますが、南アルプス市の公共施設再配置計画に基づき、平成30年8月頃に若草健康センター(鏡中條1642-2番地)に移転する予定です。それに伴い、若草健康センターは移転工事のため平成30年4月1日から平成30年8月31日までは会議室等の貸出は行えません。市民の皆さま方には、ご不便等おかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

社協について  
ご意見感想をお寄せください

〒400-0337 南アルプス市寺部659  
南アルプス市社会福祉協議会「社協 意見・感想係」  
e-mailでも受け付けます。  
info@minami-alpsshakyo.or.jp

【発行】  
社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会  
〒400-0337 山梨県南アルプス市寺部659  
TEL055-283-8711(代) FAX055-283-4167  
URL <http://www.minami-alpsshakyo.or.jp/>

